

授業科目	特別支援保育	2単位	必修	演習	2学年通年	担当 教員	講師 佐藤高博					
授業の概要	<p>① 前期はさまざまな障がいの特徴を学ぶとともに、視聴覚教材を通じて障がい児・者が抱える問題について考え、自分の意見を持つことを目標とする。</p> <p>② 後期は主に保育所・幼稚園・認定こども園で行う特別支援教育・統合保育について学び、個別の指導計画が作成できるようになることを目標とする。</p> <p>③ 毎回の授業は、予習を前提として進める。準備学習に記載してある準備を行って授業に臨むこと。</p> <p>④ 演習や事例検討には積極的な姿勢で参加すること。それらは授業への取り組みとして評価される。</p>											
到達目標				学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育を支える基本的な考え方について学び、特別の支援を必要とする子どもとその教育・保育・福祉について理解する。				○	○	◎	○	○	◎	○	○	
2. 個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。				○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
3. 障がいのある子どもその他の特別の支援を必要とする子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。				○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4. 障がいのある子どもその他の特別の支援を必要とする子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。				○	○	○	○	○	○	◎	◎	
5. 障がいのある子どもその他の特別の支援を必要とする子どもの教育・保育に関する現状と課題について理解する。				○	○	○	○	◎	○	◎	○	○
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習					
1	オリエンテーション 障がいの概念と特別支援教育・保育や障がい児・者福祉の歴史的変遷	シラバスに目を通しておく。 教科書第1章に目を通しておく。	授業の進め方や評価の方法について理解する。 障がいの定義やとらえ方について理解する。 障がいのある子どもの保育の形態について理解する。				学んだことを自分なりにまとめる。					
2	特別支援教育・保育の基本	教科書第2章の2-1、2-2に目を通しておく。	特別支援教育・保育の考え方について理解する。 子どもの発達過程について理解する。 障がいのある子どもの発達の捉え方について理解する。				学んだことを自分なりにまとめる。					
3	特別な支援を要する子どもの理解と支援(1)	教科書第2章の2-8①に目を通しておく。	知的障がいの定義や診断基準について理解する。				学んだことを自分なりにまとめる。					
4	特別な支援を要する子どもの理解と支援(2)	教科書第2章の2-8②に目を通しておく。	知的障がいのある子どもの特徴について理解する。				学んだことを自分なりにまとめる。					

5	特別な支援を要する子ども の理解と支援（3）	教科書第2章の2-8③に目を通しておく。	知的障がいのある子どもに対する保育や支援の方法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
6	特別な支援を要する子ども の理解と支援（4）	教科書第2章の2-3、2-4、2-5に目を通しておく。	発達障がいの定義と診断について理解する。 感覚の発達について理解する。 感覚統合への発達援助について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
7	特別な支援を要する子ども の理解と支援（5）	教科書第2章の2-3③、2-9に目を通しておく。	自閉症スペクトラム症のある子どもの特徴や保育・支援の方法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
8	特別な支援を要する子ども の理解と支援（6）	教科書第2章の2-3③、2-9に目を通しておく。	注意欠如多動症のある子どもの特徴や保育・支援の方法について理解する。 学習障がいのある子どもの特徴や保育・支援の方法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
9	特別な支援を要する子ども の理解と支援（7）	教科書第2章の2-3②、2-7に目を通しておく。	肢体不自由について理解する。 肢体不自由のある子どもに対する保育や支援の方法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
10	特別な支援を要する子ども の理解と支援（8）	教科書第2章2-10に目を通して ておく。	重症心身障がいのある子ども・医療的ケアが必要な子どもの特徴や支援について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
11	特別な支援を要する子ども の理解と支援（9）	教科書第2章2-6に目を通し ておく。	聴覚障がいについて理解する。 聴覚障がいのある子どもに対する保育や支援の方法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
12	特別な支援を要する子ども の理解と支援（10）	教科書第2章2-6に目を通し ておく。	視覚障がいについて理解する。 視覚障がいのある子どもに対する保育や支援の方法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
13	特別な支援を要する子ども の理解と支援（11）	言語障がい、コミュニケーション障がいについて調べる。	言語障がい・コミュニケーション障がいについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。

14	特別な支援を要する子どもの理解と支援 (12)	病弱・虚弱、情緒障がい、精神障がいについて調べる。	病弱・虚弱について理解する。 情緒障がいについて理解する。 精神障がいについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
15	特別な支援を要する子どもの理解と支援 (13)	特別な支援ニーズを抱えた子どもについて調べる。	母国語や貧困等の特別な支援ニーズを抱える子どもについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
16	特別支援教育・保育や障がい児童の制度や仕組み	特別支援教育・統合保育について調べてくる。	特別支援教育・保育や統合保育・インクルーシブ保育の実際や保育者の支援について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
17	インクルーシブ教育・保育の理念と実際	教科書第3章の3-3に目を通しておく。	インクルーシブ保育における障がいのある子どもとクラスの子も達とのかかわりについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
18	個別支援の視点 (1) 心の支援	二次障がいについて調べてくる。	愛着の形成と愛着障がいについて理解する。 二次障がいについて理解する。 二次障がいの予防について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
19	個別支援の視点 (2) 発達論による支援	スモールステップについて調べてくる。	障がいのある子どもの発達援助について理解する。 課題分析とスモールステップについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
20	個別支援の視点 (3) 行動への支援	応用行動分析について調べてくる。	気になる・問題となる行動の捉え方について理解する。 応用行動分析を用いた支援について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
21	個別支援の視点 (4) 環境調整による支援	構造化について調べてくる。	認知のつまずきについて理解する。 構造化について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
22	個別支援の視点 (5) 連携による支援	教科書第4章の4-2、第5章に目を通しておく。	横の連携と縦の連携について理解する。 連携におけるコミュニケーションについて理解する。 連携と支援の計画について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
23	さまざまな支援技法の活用	教科書第3章の3-2に目を通しておく。	動作法について理解する。 SSTについて理解する。 さまざまな支援技法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
24	障がいのある子どもの個別の計画	教科書第3章の3-1に目を通しておく。	障がいのある子の個別の計画の概要について理解する。 個別の指導計画を立てる際に必要な考えを理解する。 個別の指導計画を作成する流れを理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。

25	個別の指導計画（1） 個別の指導計画作成の考え方	教科書第3章の3-1に目を通しておく。	子どものアセスメントについて理解する。 個別の指導計画の目標の設定について理解する。 個別の指導計画の支援内容の作成について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
26	個別の指導計画（2） 個別の指導計画作成の実際	教科書第3章の3-1に目を通しておく。	個別の指導計画とクラスの指導計画との関係について理解する。 個別の指導計画の作成例について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
27	個別の教育支援計画の実際	個別の教育支援計画について調べておく。	個別の（教育）支援計画について理解する。 個別の（教育）支援計画と個別の指導計画の関連性について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
28	障害児支援利用計画と個別支援計画の実際	教科書第4章の4-2、第5章の5-3に目を通しておく。	障害児支援利用計画について理解する。 施設における個別支援計画について理解する。 障害児支援利用計画と個別支援計画の関連を理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
29	保護者への支援（1） 障がいの受容、家族に対する支援技法	教科書第3章の3-2③、第4章4-1に目を通しておく。	障がいのある子どもの保護者やきょうだいの気持ちを理解する。 障がいの受容について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
30	保護者への支援（2） 就学に向けての支援	教科書第3章の3-2③、第4章4-1に目を通しておく。	障がいの早期発見と支援について理解する。 ペアレント・トレーニングについて理解する。 就学に向けての支援について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
成績評価	授業への取り組み（20%） 課題提出（10%） 前期レポート（20%） 後期期末試験（50%） 合計 100%			
教員からのコメント	障がいのある子どもの保育といっても特別なことではなく、クラスの中で、他の子どもと一緒に遊んだり生活したりして行われるものです。ただし、なんらかの配慮が必要な場合があり、これを特別なニーズと言います。この授業では、障がいのある子どもにどのような配慮をすればよいかを考えるための基本的な考え方や知識、技術について学びますが、障がいのあるなしにかかわらず、全ての子どもたちの特別なニーズを考えられるようになって欲しいと思います。			
教科書	書名 障がい児保育 著者 小橋明子監修 小橋拓真編著 発行所 中山書店	推薦図書	書名 授業の中で随時紹介する。 著者 発行所	